

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひぬまきつず		公表日		令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・活動のスペースは適切になっている	・走ると狭く感じることもある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・育児中の職員も、子どもの体調不良時にしっかり休める環境になりつつある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・活動の場所と遊ぶ場所が区切られているため、環境的にわかりやすく、切り替えがしやすくなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・支援終了時には消毒と、毎朝の掃除を行い空間を清潔に保つよう努めている	・冬場のトイレが寒いので、暖かくなるよう対策に努めていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・個別室を用意しており、子どもの必要に応じて個別室の使用を認めている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年、評価表を実施し、業務の改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・職員同士が相談しやすい環境づくりを事業所として意識している	・パート職員からの意見を把握する機会が少ないため、機会の増加に努めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	・定期的に法人内での研修を開催し、職員の資質向上に努めている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・支援プログラムは適切に作成され、ホームページと事業所で公表されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・会議でケースカンファレンスの実施を行い、子どもの共通理解を図っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・MEPA-Rを使用し子どものアセスメントを取っている	・その他のツール利用にも努めていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・身体を使う活動や知育を取り入れた活動などを組み合わせ、工夫したプログラムの提供に努めている	・固定化されつつある部分もある為、ミュージックケア等も取り入れ、固定化しないように努めている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・個別スクールの日を設け、個別活動と集団活動を組み合わせる支援の提供に努めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・朝会の時間を設け、職員間での支援の確認を行ってから業務に当たるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・終了後に限らず、その都度職員間での共有を実施している	・次の日の朝の共有になっている。重要な点等は、休みの職員にもその日のうちに共有するよう努める
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・業務終了時には、毎日記録を取り、支援の改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・子どもの発達段階や個々の特性を踏まえ、支援の見直しを職員間で共有しながら行うよう努めている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	・関係機関とは情報共有を行い、連携に努めている	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	・併用している児童には保育所等訪問支援の利用も促し、保育所との情報共有に努めている	・多くの児童が併用の形を取っているが、時に幼稚園の情報が入ってこない児童もいるため、こちらからアクションを起こすよう努める
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3		・小学校とも積極的に連携を図れるように努めていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0		・相談支援員としてのやり取りが多いため、直後のやり取りも増やせるよう努めていく
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1	・医師やST、PTからの助言を受け、支援に取り入れている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	10	0	・適した職員が参加し、地域の子どもの自立支援に努めている	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	・併用の児童が多いため、施設以外の場で交流の機会がとられている	・法人の夏祭りに地域の子どもたちを招待しているも交流の機会は少ないため、今後共有の場の充実に努める
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・お迎え時に、保護者と子どもの状況について伝え、共通理解を持てるよう努めている	・お迎え時に話しているが、ゆっくりと話すのは日によって難しい時もある
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	・外部の研修会等がある際にはパンフレットの掲示を行っている	・親子合同イベントを通して、家族が参加できる機会を設けていく	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・契約時に保護者のニーズを確認し、それを踏まえたうえで児童発達支援計画を作成するように努めている		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1		・保護者のニーズに合った形を設けながら説明ができるように努めていく	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・相談があった際には、送迎時などに必要な助言や支援を行っている	・必要に応じて面談の機会を設けているも定期的に開催できていない為、皆が面談できるように努めていく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2		・親子合同イベントで交流の場を設けることはできたが、まだ改良の余地はある為、機会の増加に努めていく
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・相談の申し入れがあった際には、迅速に対応し、保護者の不安解消に努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	・マチコミを通して情報の発信や連絡体制を整えている	・今後は、マチコミを通してさらに情報の発信に努めていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人情報はパスワードやカギでの施錠により管理を徹底している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・個々に合わせた物理的、心理的配慮に努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	・夏祭りやオータムフェスタなど、法人行事に地域住民を招待している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	・定期的に緊急時を想定した訓練を実施している	・マニュアルは設置してあるも、家族への周知は不十分なところもあるため周知の徹底に努めて行く
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・契約時に服薬やてんかん発作について確認を行い、都度服薬がある際には、与薬依頼書を保護者に記入して頂き、状況の確認に努めている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・保護者とも確認を図り、対応に努めている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・毎年、安全計画を作成し、それに基づいた訓練を実施している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハットはファイリングし、職員全員が見直せるようにし再発防止に努めている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・虐待防止の研修の場を必ず設け、虐待防止に努めている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	・現在、該当児童はなし		